

みいよく通信

「魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会」の報告について

- ・ 標記研修会が、令和元年9月25日（水）に宇都宮市役所14階大会議室で、57名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 前半の事例発表では、雀宮中央小学校地域協議会、上河内西小学校地域協議会、古里中学校地域協議会から、子どもたちを交えた地域での話し合いや学校・地域・大学と連携した生き物観察会、地域未来塾に関する取組事例などについて紹介していただきました。
- ・ 後半の情報交換会では14のグループに分かれ、「地域コーディネーターと学校の連携」と「学校支援ボランティア」について、活発にアイデアを出し合いました。

事例発表① 雀宮中央小学校地域協議会 「雀央サミット」

雀宮中央小学校 副校長 齋藤 知之 氏

1 活動の経緯

- 児童会が主体となり、児童が考えた「地域のためにできること」を地域の方に提案。平成14年度頃から実施している。

2 活動の概要

- 今年度の代表児童は68名（3年生以上、各クラスから募集。学区内地区ごとに5、6名ずつ）。
- 今年度のテーマは、
「雀宮中央小学校や地域をよりよくするための活動
～地域で築こう、明るい笑顔～」
- 毎年、子どもたちなりに準備し提案をまとめて、当日大人に説明している。それに対し、地域の大人の視点でアドバイスをくれる。
- 地域からの参加者は、各自治会長・役員、PTA生活指導部役員、各地区育成会委員、協議会委員など。地域協議会委員も、当日の話し合いなどにオブザーバーとして参加している。



3 成果・課題等

- ある地区で、地区内の危険な所を、親と地域の人を交えた点検をすることで安全確保をしようという提案があった。子どもと大人が集まって話し合う機会を持てたからこそ、このような新しい取り組みにつながった。ほかにも、地域の公園の清掃・除草、ごみをポイ捨てしないよう促すポスターなど。
- 子どもたちが身近な地域について、課題やかかわり方を考える貴重な機会となっている。
- 今後は見直しを図り、よりよい実施方法などを検討していく。

事例発表② 上河内西小学校地域協議会 「生き物発見，大作戦！（水の中の生き物を調べよう）」

上河内西小学校 副校長 麦倉 克英 氏

1 活動の経緯

- 平成27年度に、今里地区を対象に開催されたものが、学校や地域協議会との連携により、学区全体の催しとなったもの。



2 活動の概要

- 協議会は「上西小未来応援クラブ」という名称で活動。この催しでは、係分担の確認や保険加入手続き等を行っている。
- 地域の団体である「今里水と緑を守るみんなの会」が、宇都宮大学への学生派遣依頼や場所の確認・整備，必要物品の確認などを担当している。
- 当日は、大人がしっかり見守りアドバイスをするなか，子どもたちは様々な生き物を捕まえることができた。その後，「みんなの会」が配布した冊子や准教授・学生の説明を聞き，生き物の特徴を観察してスケッチをするなどの学習をした。

3 成果・課題等

- 子どもたちに感想を聞いたところ，「私たちは地域の環境や生物を守っていかなければだめなんだなと思いました」など，体験からそれぞれ感じ取り，学び取ったようだ。
- 「みんなの会」の会長は，「現在の環境を守っていきたい，生き物調査を通じて子どもたちに豊かな自然について考えるきっかけになってほしい」と話されていた。学校としても同じ気持ち。

事例発表③ 古里中学校地域協議会 「ふるさと未来塾」

地域コーディネーター 仲山 初枝 氏

1 活動の経緯

- コーディネーター研修会などの際に，他校での未来塾立ち上げや開始後の話を聞いていたため，昨年度に学校から話があったときにイメージできた。
- 学校だけではなく，生涯学習センターやPTAなどと打合せを行い，謝金や交通費，会場確保などの課題を一つずつ解決していった。



2 活動の概要

- 古里中学校の隣にある河内生涯学習センターで，毎週水曜日の放課後，子どもたちの自習の場所を確保し，ボランティアが子どもたちからの質問などに対応している。
- 現在，講師を2名確保できている。2名とも地域の有志の方。
- 開催時には，講師は間違いの指摘や質問対応を行う。子どもたちは教材を持参し，自分でできるところまでやって，分からないことがあれば質問をする。講師が空くまで待っている。
- 会場の責任者は協議会。片付け時に，PTAや協議会の委員などがフォローしてくれることがある。

3 成果・課題等

- 5月下旬から夏休みまでの間で，計11回開催し，延べ125人の子どもたちが参加してくれた。
- 追加で夏休みに3回開催（講師から提案があったことと，会場となる部屋を確保できたため）
- 講師の確保が課題。大学のボランティア説明会などに出向いて説明したが，なかなか増えない。

☆主な意見☆(当日発表・実施後アンケート)

① 地域コーディネーターと学校の連携について

- ・ 教員とコーディネーターなどの連携・協力はうまくできている。(複数意見あり)
- ・ 学校側として、地域コーディネーターによる調整、提案、アドバイスがありがたい。
- ・ 教員は短い期間でかわってしまうこともあり、地域のようにすやこれまでの経緯を引き継ぐためには、意思疎通・意見交換が大切
- ・ 先生方の対応のおかげでボランティアのモチベーションを保てるので、連携はとても重要
- ・ 活動の拡大が難しいので、連携を強化していきたい。

② 「学校支援ボランティアについて」についての情報交換

《ボランティアを集めるための工夫》

- ・ 入学式、(中学校の場合、小学校の)卒業式など、保護者等の参加があるとき
- ・ 月1回募集。臨時に発生した場合は、学校からメールを発信
- ・ 回覧板で周知、一度ボランティアをした方に手紙でお知らせ など
- ・ 募集してもなかなか集まらない。(複数意見あり)

《ボランティア活動の工夫や課題など》

- ・ 水泳指導・見守り、英語の指導も一緒にしてくれる所もある。
- ・ 絵の具を使った授業の見守り(水場がびしょびしょになるのを注意し、児童に声掛け)は、学校教員の手が回らない所。学校のニーズに応じた支援が大変ありがたい。
- ・ コーディネーターとして重視すべきことは、人員(ボランティア)配置への気遣い
- ・ 学校から地域に出るボランティア活動を増やし、地域との触れ合いを充実させている。
- ・ 地域で魅力協のイベントに協力してくれるボランティアの引継ぎが課題となっている。
- ・ 学校支援ボランティアの中でも、異年齢の交流も図れればと思っている。
- ・ 内容によって、ボランティアの人数にバラつきがある。
- ・ ボランティアが集まったとしても学校の方でボランティアが必要なことが少なく、活動の場がない(仕事がないときは、中学校にボランティアに行くこともある。)

☆ご連絡☆

- 1 「地域コーディネーター研修Ⅱ」を予定しております(県河内教育事務所との共催)。申込みなどについては別途ご連絡となりますが、ご都合の調整のほど、よろしくお願い申し上げます。
日時：12月23日(月) 午後2時～午後4時30分(予定)
場所：栃木県総合教育センター
対象：地域コーディネーター、地域連携教員
- 2 9月までのコーディネーター活動日誌について、10月中のご提出をお願いしておりましたが、まだご提出いただいていない場合は、お早めにご提出ください(電子データをミライムで生涯学習課代表宛てに送信)。
- 3 適切な予算の使い方をお願いします(2、3月に余ったお金を慌てて使っている様子も見受けられます)。
- 4 魅力協の活動を地域の皆さんにもっと知っていただくため、生涯学習課ではピブス(メッシュ生地の中からかぶるベスト)30着の貸し出しや、ティッシュの配布(各魅力協でミニチラシを挟んでいただくもの)などもしております。ご興味のある場合は、生涯学習課までお気軽にご連絡ください。